

夢よりがれ

もっと

7 2020
月号
Summer
vol.203

発行・編集
いぶきファミリー
(旧いぶき福祉会後援会)

〒502-0907
岐阜市島新町5番9号
TEL.058-233-7445
FAX.058-232-9140
ibuki.m@ibuki-komado.com

いぶき
25th
anniversary



Oida Haruka

表紙に新しいロゴマークが入りました。

1994年(平成6年)7月8日、社会福祉法人いぶき福祉会が法人登記されました。翌1995年に「いぶき」が開所。今年は25周年になります。仲間も職員もどんどん増え、日々の活動で出会いも広がるばかり。だからこそ、この四半世紀の節目を、対話をひろげる絶好のチャンスとして大切にしたいと思います。

もくじ

2-3 新型コロナウイルス禍の中で

4 2019年度-2020年度
いぶきファミリーの活動

連載:
5 心のバリアフリーナビゲーター
恩田聖敬が愛を語る

6 シリーズ:
わたしと娘といぶきと

7-8 情報掲示板



新型コロナウイルス禍の中で

北川 雄史

新型コロナウイルスの感染拡大の兆しをうけ、いぶき福祉会としての対策を強化してから、本稿執筆時点で5ヶ月が経とうとしております。皆様におかれましても、大きな「変化」を余儀なくされ、それを仕方ないこととして折り合いをつけなければならない日々、いいようのない居心地の悪さを感じておられる方も少なくないと思います。そんな最中にも、たくさんのお気遣いを賜り、本当にありがとうございました。そして、一日も早く、会いたい人と心おきなく過ごせる日が来ることを祈念してやみません。

ここで私どものこの間の対応についてご説明いたします。基本的には厚労省のガイドラインに基づきつつ、さらに10年前の新型インフルエンザの時の経験も踏まえながら、落ち着いて対応しました。しかし、神経を尖らせながらの対応もあり、ご心配、ご迷惑をおかけしたこともあるかと思います。安心をお届けできなかったときもきっとあったと思います。「頑張ったけれども、あの時はごめんなさい」それがいまの素直な気持ちです。

法人として最優先に考えるべきは①利用者の安心と安全、②職員の安全、③事業継続の3点でした。今回とても救われたのは、4月9日に送られた厚生労働省の事務連絡でした。利用者が安全を優先して自宅で過ごす場合は、電話等での支援でも

通常の施設サービスを提供したものとみなすというもの。実はこういった措置がとられることはとても珍しく、例えば、暴風雨警報などで閉所した場合、それが行政の指示であっても、その日の収入はなくなってしまいます。今回のように終わりが見えないと、不本意ながら安全と経営との矛盾に強く苛まれます。ですので、今回、ひとえに安全と安心だけを考えて対処できたことが本当にありがたかったのです。

そんな中、細心の注意をもってあたりまえの日常を守ってくれた職員には本当に感謝しています。「仕事、行かなければいけないの?」という家族の心配の声もあったと思います。不安も見せず務めを果たしてくれたり、家庭の事情で出勤を控えながら現場を気にかけてくれた職員、ひとりひとりを誇りに思います。

状況はまだまだ予断を許しませんが、「こういう時だからこそ私たちがみんなを元気にしよう!」と威勢のいいことを申すつもりもありません。ただ、いつもどおりいられることに感謝し、安全と安心と希望の灯火を決して消さない。そんなつもりで過ごしています。いつも見守っていただき本当にありがとうございます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





はじめての体験、いぶきでの新しい日常

森 洋三

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴っていぶきでも取り巻く環境ががらりと変わりました。

施設では施設外での取り組みや密になる活動が中止され、感染予防を徹底する中での過ごし方を余儀なくされました。

仲間たちは慣れないマスクをして、距離をとり、特に食事場面では交互に座るなど、なるべく距離をとって過ごす生活となりました。

緊急事態宣言中は安全のため利用を控える方も増えたり、送迎が中止されたため家族の皆様にも負担が増えました。

バザー等も中止され販売機会も受注も減少し、商品を作っても売れなくなりました。

幸い施設閉所には至らなかったのも、何とかいぶきにくることは維持できた人が多かったです。

予定変更が苦手な仲間も、全体があたり前にして

ることを感じてか変化に合わせて生活したり、初めてマスクをつけることができる仲間が増えました。そして、オンラインを使った打合せや音楽療法を楽しんだりして、これを機に初めて体験していくことも多々あり、こんな状況の中でも楽しく過ごせる日も増えてきました。

また、多くの方からのご支援や励ましをいただきました。

一時期全く手に入らなかったマスクや消毒は個人・企業などからたくさんのご寄贈いただき、ピンチを乗り越えることができました。

関牛乳さんより牛乳パックを160本いただきました。各グループでおいしくいただきました。

不安な時期のご支援については大変心強く感じられました。

改めましてご支援ありがとうございました。



創意工夫をしながら、笑顔を大切に過ごしています。





2019年度いぶきファミリーの活動について



新型コロナウイルスの影響で昨年度末から役員会ひいては例年であれば6月までに開催していた総代会も実施することができておりません。

昨年度のまとめと本年度の計画については、会員のみなさんと確かめ合いながら作るものですが、今年度においては、誌面においてご報告し、今後、役員会で継続して状況を報告さしあげます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2019年度事業計画にもとづく報告

会報の発行

会報4回と特別号1回を発行しました。

9月の特別号でパストラルいぶき寄付活動の特集をお届けし、創刊200号となった10月からは誌面構成を一新。恩田聖敬さんの連載も始まりました。リニューアルしたHP「いぶきの小窓」でバックナンバーがご覧いただけるようにしました。

つながりをひろげる活動

①コープぎふとの協働

組合員さんの見学や交流で足を運んでいただきました。「いぶきコミュニティガーデン」にコープ共済の助成をいただき、会員・地域の方々と4回にわたる花壇整備のワークショップを実施しました。

②FC岐阜との協働

ねこの約束とのコラボ商品としてタオルマフラーをつくり、販売しました。長良川花火大会でのFC岐阜イベントでチャリティーバザーを父親の会のみなさんと一緒に行いました。

③きょうされん岐阜支部さんとの協働

東日本大震災での障害者の現状を描いた映画「星に語りて」の上映会を15回開催して、パストラルいぶきの防災拠点の在り方や防災について考える機会を作りました。

④学習会の実施

10月22日に「親亡きあとのことを考える親あるあいだ準備講座」を開催。親亡き後の財産管理の在り方について考える機会を作りました。

ささえてもらう活動

①新たに個人302人、3団体が賛助になってくださいました。3月31日現在個人賛助会員1039人、団体賛助会員12団体が応援してくださっています。

②パストラルいぶき2期整備事業で寄付を募りました。1935名の方から24,732,137円のご寄付をいただきました。

2020年度の事業計画

会報の発行

4月（発刊済）と7月（本号）のほか、10月、1月に発行を予定します。

つながりをひろげる活動

個人1,150人の賛助会員を目指して主に以下の活動を計画しています。

①コープぎふ、FC岐阜、きょうされん岐阜支部との協働を継続します。「いぶきコミュニティガーデン」については本年度もコープ共済地域ささえあい助成をいただけることが決まりました。

②いぶき寄り添い広がるプロジェクト

<https://deco-boco.jp/projects/view/12>
仲間のやりたい暮らしの実現をすすめるプロジェクトです。「意思決定支援セミナー」や、家族の願いを記す「親心ノート」の作成などに取り組みながら、学びを深めます。

③IBUKI HAPPY-HAPPY プロジェクト

地域企業と協働で「寄付つき商品」を開発し、地域の皆様に買い物で社会貢献ができるしくみをつくります。地域企業といぶき福祉社会を寄付でつなげる活動です。



ロゴマーク決定！

①いぶき、②仲間、③企業、④消費者（地域）が向かい合いひとつになって、一緒にハッピーになろうというメッセージを四つ葉のクローバーこめました。

将来にむけて

社会福祉法人改革の一環で、法人としても地域貢献事業に取り組むため、いぶき福祉社会といぶきファミリーの役割と連携の整理が必要になっています。今年度、役員会で議論を進めてまいります。



心のバリアフリー
ナビゲーター
恩田聖敬が
おんだ さとし

愛を語る!



〔vol.3 介助愛〕



ALSは運動神経のみが侵される病気です。目も見える、耳も聞こえる、痛いかゆいもわかる、思考にも悪影響はありません。つまり、コミュニケーションの受信は完璧にできており、頭の中でレスポンスも準備できるのに、筋肉の衰えにより動けない・喋れない故に発信することが困難なのです。わかっているのに何もできないALSは『世界一残酷な病気』と言われることもあるようです。しかし私の思うALSは決してそんなことはなく、自分の代わりに手足となってくれる介助者さえいればALSは克服できる病気だと思います。



いつでもどこでも頼りになるスーパー美人看護師♪

現在の私の介助者『チーム恩田聖敬』は総勢約30名くらいですが、大前提として一つの共通認識があります。それは『私の意思を一番に尊重すること』です。思考に悪影響がない以上、意思決定は私自ら行うという考え方をわかってくれる方々が私を支え続けてくれています。裏を返せば、私をALS患者としてだけで捉える介助者は、何人も私のもとを去って行きました。今残っている介助者は私を恩田聖敬と捉えてくれています。恩田聖敬として生きるのは決して楽なことではあ

りません。自分に起きていることの全てを人任せにせず、自分でマネジメントする必要があります。大切なのは不退転の覚悟を持って、障害者でも自分の意思で生きることを示



時にはヘルパー、時には秘書の役割も努めます！

すことです。それが介助者に伝わり、本気で人生を支えてもらう『介助愛』を受け取る極めて有効な術だと思います。自分で全てをマネジメントするのは生半可ことでは

ありませんが、覚悟を持つことは自分次第で出来ることです。健常者の時から私はこの覚悟を持って生きてきました。だから『チーム恩田聖敬』を創ることが出来たのだと思います。『あなたはALSに選ばれた。選ばれたからには何か成し遂げることがあるはずだ。』お世話になった障害者の方の言葉です。まずは『チーム恩田聖敬』と一緒に、ALSでも自分らしく生きられることを成し遂げたいと思います！



介助者の力を借りてALS患者同士で談笑中！



シリーズ わたしと娘といぶきと

藤掛 雅洋



娘「沙那(さな)」は、現在第二いぶきでお世話になっています。入所が2015年ですから、本巣特別支援学校を卒業してもう6年になります。

娘の障がいはダウン症(21トリソミー)ですが、その発達のレベルはまちまちで、娘の場合は、言語能力が低く、自分の意志や気持ちを伝えられないことや、精神的に不安定になりがちで、職員や仲間のみなさんにずいぶん迷惑やご苦勞をおかけし、心苦しく思っています。

また、ダウン症はその容姿から比較的簡単に判別しやすい障がいですが、今から思えば、当時の自分は全く

のド素人(?)で、産院を退院後も、娘の障がいに気づかず、体重が増えないことから長良病院を受診して初めて知らされたほどでした。



初めての子育てに戸惑いつつも、親バカになりかけていた矢先での宣告。毎晩、娘を寝かしつけながら、なぜ?どうして?と、悲嘆に暮れ、朝目覚めるとわが子が障がい児という現実には引き戻される。その瞬間が一番辛かったなと記憶しています。そんなある日、娘を寝かしつけながら、ふと気付いたことがありました。自分は毎日、娘の障がいのことを悩み、悲嘆しているけど、実は、障がいを持つ子供の親になってしまった自分の境遇を悲嘆しているだけじゃないのかと。もちろん娘にとって障がいは、とても重いハンディーですが、年老いて子供の世話になることをあてにしない限り、子供の障がいは、自分自身にとっては、決して不幸ではな

い。子育てで苦勞するのは健常児も障がい児も程度や質の違いはあれ、変わらないと。苦しまぎれの無理やりな合理化だったのかもしれませんが、そう思うことで随分と気持ちが軽くなったように記憶しています。

とは言え、きれいごとばかりは言ってられません。娘が痙攣を起して泣き叫ぶのを聞くと、悪魔と天使が共存しているとは思えない時もあります。特に、昼間は仕事で外に出ている自分に比べ、妻の心勞は計り知れないと思います。正月

の神社での願い事

は娘より四十九日長生きすることです(笑)。

そんな自分もそれなりの歳を迎え、いわゆる「親なき後」を真剣に考えなければならない時期に来て

はいますが、日々に追われ問題を先延ばしにしています。

父親の会に参加させていただいたのも、施設にお世話になるばかりでなく、何かお手伝いさせてもらうこと、相談しあえる仲間、アドバイスを得られる先輩方との交流を期待してのことでした。

今後とも、施設、職員の皆さん、仲間との交流を大切に、現実的な課題にも向き合っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



第二いぶきにて成人式の様子



情報掲示板

新規入会・更新御礼

秋間実・浅井昭士郎・浅井彰子・浅川百合子・浅野勝己・浅野裕美・浅野由起・浅野理恵・浅野博子・荒井通江・新家彩織・荒川啓子・
 荒川真由美・安藤富子・安藤美奈子・安藤光昭・安藤英子・安藤文子・飯干ケサエ・井川ますみ・井川笑子・井川好子・池田庸子・
 池田光巳・石井潔・石橋美枝子・石原大輔・磯貝真弓・五十川みどり・伊丹祐子・市川裕子・伊藤敏子・伊東正喜・伊東幸恵・
 伊東由利子・伊藤公夫・伊藤絳一・伊藤明・伊藤一春・伊藤慎悟・伊藤秀光・井藤和美・伊藤明美・稲田千佳・井奈波純子・犬飼亨・
 犬飼尚子・井上伸子・井上恭子・井上浩美・井上ゆうが・稲生勝・政子・伊原郁美・今井典子・今井明美・今井津や子・今井健二・
 今井田淑子・今枝運栄・今川ふみ代・今西千鶴・岩城志げ子・明代・岩佐裕子・岩田年・岩田理映子・岩田佳久・岩中麗子・岩間サー
 ディア・岩松朋美・岩松尚吾・岩本美保子・岩本正淑・植上一希・上田恵子・上松史明・上松豊子・植村悦子・上村真理・牛丸基樹・
 臼井澄雄・碓井美枝子・臼井多恵子・内田彩・江崎浩子・NPO法人ひなたぼっこ・遠渡ゆき枝・遠藤久志・塩谷正春・塩谷誠・
 置田葉子・老田浩一・大石真理・大石くに子・太田芳彦・大竹光子・大塚みさ子・大塚千代子・大塚喜太郎・大西トシ子・大野秀子・
 大野文子・大野典子・大野晃一郎・大野千加子・大橋純子・大橋泰子・大橋由美子・大洞美子・大堀愛子・大脇啓子・岡仁美・
 岡田美香子・岡部幸子・岡本由佳・小川斉・小川泰子・小川典洋・小川慶三・小川久美子・小川ヨシ子・奥田光子・奥田祐子・奥谷康子・
 奥松芳和・奥村富貴子・小椋宗一郎・小栗公子・長村努・小澤倫正・尾関千登世・小高典子・織部正美・笠井公子・笠井里美・
 笠井義道・笠井さくみ・柏原知恵・梶山真代・片山保・合掌頭・かおり・勝野ほづみ・勝又恵里子・桂川裕見子・加藤富代・加藤紀子・
 加藤義信・加藤静夫・加藤千恵美・加藤達子・加藤景美・加藤明子・加藤良仁・角田三佳・金武直歩・可児恵里奈・金子智孝・
 兼松由美子・兼松ゆかり・金丸ちづ子・金村敬子・加納美絵・加納優汰・蒲勇介・蒲江里子・上月優子・神谷喜久枝・亀井ひとみ・
 粥川由美・河合哲仁・河合道枝・川合純子・河合泰邦・河合かおり・川口亜稀子・川島和男・川島豊康・川瀬光利・河瀬真季・川瀬悟・
 川出早苗・河出さとみ・河出晃治・河波宏実・川村久子・岸智子・北尾敬子・北川雄史・北川トヨ・北川龍・北谷雅春・木谷祐子・
 木谷正博・北洞勝美・北村育美・北村祐子・木下晴美・木村泰郎・行超寺・楠二三男・楠光明・工藤敬子・国枝真理子・國島敬子・
 國松美代子・久保江武志・熊谷彰子・汲田三洋・倉うめ子・黒須三恵・黒野理津子・桑原愛子・古池浩・小出巻子・河野勝彦・
 河野康彦・神山初江・高力千恵・小久保幸子・穀本弘治郎・小坂明美・小酒井政孝・小島玲子・小島留美子・五島智利・小谷真理子・
 後藤三重子・後藤克子・後藤久美子・後藤哲宏・後藤千恵・小林源次・小林里美・小森しのぶ・小森籠谷ひとみ・小山正美・是枝明子・
 近藤桂子・近藤貞夫・才田栄治・斉田昌二・斎藤順子・斎藤文夫・斎藤守重・酒井伊紀・酒井幸子・酒井真喜子・酒井光男・
 酒井四季子・坂口恵美・坂田友美・坂根庸恭・坂本茂・佐久間徹・佐久間澄子・櫻井義孝・桜井みゆき・佐々木研二・笹谷紀美子・
 佐藤道代・佐藤レイ子・佐藤美也子・佐藤春吉・佐藤貴則・佐野忠男・澤居潤一・澤井康夫・澤田由季・猿渡聡美・志垣誠一・
 篠田陽子・篠田知美・篠原進一・柴聖子・柴田信子・柴田節郎・柴田真奈美・柴田保之・渋谷浩子・島尻永司・清水恵・清水宏子・
 下田君夫・下野陽子・生源寺孝浩・千加子・白石弘子・白木寿子・白木愛子・白木和雄・白木仁・末次真澄・杉江加代子・杉本隆夫・
 杉山栄・杉山千香子・杉山茂樹・杉山小夜香・須甲きぬえ・須甲真人・鈴木英夫・鈴木正道・鈴木宗徳・鈴木浜子・鈴木悠平・須藤愛子・
 鷺見ちづ子・鷺見・住田佳代子・曾我部光・醍醐久美・高井節子・高石浩一・高木哲夫・香代子・高木正一・高木明・高瀬加代子・
 高津延子・高橋真由美・高橋定行・高橋茂・高橋弦・京子・高橋勤・滝健司・瀧川京子・竹内すみ子・竹内陽子・竹内俊文・竹内洋子・
 竹内エツ子・竹内久人・竹腰龍太・竹腰一美・竹腰幸夫・武市健治郎・竹地裕司・竹中隆晟・竹中浩・武野典子・竹森正孝・武山詔八・
 多胡真知子・田島明美・田代達生・立澤加奈子・田中尚樹・田中潤美・田中中和美・田中悦子・田中幸人・田中晴美・田中保知・棚橋嘉明・
 棚橋賢二・田辺和彦・谷河美穂・谷口京子・谷山静菜・玉井豊・玉木多津子・玉木真晴・玉田久美子・田村満里子・太和田善久・
 近松明美・近松美智代・近松壽美代・千島とみ子・辻和久・辻薫・辻圭介・辻恵美・辻加寿美・辻本隆太・津田雅夫・津田飛鳥・
 土居千寿子・土田千恵美・土本千枝子・都築秋枝・出口まゆみ・寺澤真実・寺澤久美子・寺田元一・寺町菜穂子・土井昭則・
 道家由美子・遠山妙子・徳村洋平・所直好・所礼子・戸崎芳嗣・戸崎のぶよ・朽下春江・戸松聡子・富尾泰子・富岡妙子・富田武生・
 富田奈美・富田理・鳥飼節子・内藤新・中美保子・仲浦光徳・中尾恵美子・中川一雄・中川眞代・中川淳一郎・中里香苗・長澤敦・
 中島由生・中島由美子・中島建二・中嶋佳子・中島和子・永末孝子・永田美喜子・永田拓・永田寧子・永田浩高・中西勝彦・中根伸子・
 永野常雄・中村一恵・中村千恵美・中村郁子・中村裕人・中村英吾・中村孝一・長屋昌子・長屋陽子・中山一樹・夏目克彦・西尾澄子・
 西澤夕里子・西澤佳代子・西部健夫・西部七海・西部節子・西部治市・西村智子・西村えり子・西脇美智代・丹羽くに子・丹羽保子・
 根村敏子・根本雅子・野田龍雄・野々村照美・野々村篤子・野々村香・野原仁・野原由紀・野原春江・野原建・野原武子・野村久美子・
 野村義則・芳賀不二子・長谷川恵子・畑佐良治・服部アサエ・服部泰子・服部隆司・服部直美・花村隆・花輪ひとみ・濱野ゆり子・
 早川民子・林守男・早矢仕昌明・林康・林泰子・林磨利子・林寛一・林孝司・林敦子・林美香・林直見・早田道子・原哲治・原祥子・
 原智子・原千賀子・樋口都詩子・久江田弘子・平子友長・平田富寿子・平光久・廣瀬邦子・深尾みなこ・深谷修・福井一芳・福井敦子・



富久田道彦・福山三郎・藤井さつき・藤井慶子・藤井美和・藤井容子・藤井きよみ・藤井桂・藤掛文子・藤澤秀人・藤田鈴彦・藤田好美・
 藤吉光昭・船坂和司・古田吉次・古田タズ子・古田マキ・古田諭史・古田智子・別所雅子・逸見企代江・星野晃一郎・星場真希・
 細野高弘・堀田よし子・堀田聡子・堀貞子・堀登美子・堀江弘道・堀口弥生・堀部道子・堀部智子・本間信也・前川久美子・前川東洋男・
 前田庸介・前田久美子・前野悦子・牧野知佐子・正木トモ子・増田陽一・松井真美・松尾あさ子・松尾幸忠・松崎やよい・松田洋子・
 松田敏樹・松野小織・松原真由美・松原斎樹・松原和枝・松原基成・松原志保・松元光子・馬淵則子・馬淵みち子・丸山アヤ子・
 三浦千鶴・三浦真智・三鴨一洋・三品寿子・三島加津子・水上一・水谷理華・水野千枝子・三谷晋・南輝雄・箕浦秀樹・宮川光子・
 三宅末宏・宮下隆幸・宮下和也・宮下夏江・宮脇日出夫・宮脇貴子・三和美加子・三輪忠良・武藤典子・武藤清吾・村井純司・村地晴代・
 村原千江見・村松昭夫・室谷良男・百瀬好子・森利江・森洋三・森美代子・森武良・森義博・森清美・森弘子・森邦翁・森井健作・
 森井那奈美・森下美加・森田圭子・森山寿・森山めぐみ・矢川典・矢島大・安江久美子・安江美紀・安田美和子・安田多恵子・山口淳二・
 山口安子・安田浩幸・八頭司桂子・柳原佐知子・藪下くに子・藪本保・山内美江・山内規江・山口泰代・山口政巳・山口有一郎・
 山口弘雄・山口育子・山崎広光・山下美智子・山下悠・山下和晃・山田すみ子・山田寛男・山田真哉・山田ひろみ・山田倫代・山田賀子・
 山田慎二・山田陽子・山田雄三・山登教子・山中真紀・山村順子・山元美由紀・山本邦夫・山本昇平・山本知明・山本友美・山本功・
 柚木正夫・横澤真由美・横幕嘉行・横山文夫・横山真穂・横山光明・横山道江・横山さおり・吉川通子・吉川信子・吉川恭子・吉迫圭三・
 吉澤和子・吉田ひろ子・吉田友子・吉田直紀・吉田傑俊・吉野克弘・吉村正好・米田朱見・ラッセル ジョン・若岡昌樹・脇原義明・
 和田善行・和田文男・和田博・和田八千子・和田玲子・和田俊人・渡辺君子

(7月12日現在・敬称略・順不同)

団体入会更新御礼

・株式会社三陽商会様 ・タモツ 西浦保次郎様 ・株式会社相宮工務店様
 ・不破クリニック様 ・生活協同組合コープぎふ様 ・リアル・スタイル株式会社様

寄付御礼

・川島隆夫様 ・株式会社インターテクスチャード様 ・宮川光子様 ・安藤美奈子様
 ・古田定男様 ・大智寺様 ・中尾恵美子様 ・伊藤締一様 ・畑佐良治様
 ・杉本隆夫様 ・松原斎樹様 ・臼井澄雄様 ・山田雄三様

いぶきファミリー賛助会員への新規加入・更新のお願い

年会費

個人：1口 2,000円 団体：1口 10,000円

ご入金

①クレジットカード <http://kessai.canpan.info/org/ibuki/>

(更新手続きがいりません)

②郵便振替：00840-3-91146 加入者名/いぶきファミリー

③直接窓口：JR岐阜駅「ねこの約束」・いぶき福祉会



▲クレジット決済窓口

お問合せ

いぶきファミリー事務局 (いぶき福祉会後援会)

(タイトルに賛助会員と入れて下さい)

TEL 058-233-7445 FAX 058-232-9140 E-mail iibuki.m@ibuki-komado.com

編集後記 林守男

マトリョーシカ人形(入れ子構造のロシアの人形玩具)を分解してみた。何年ぶりだろうか、この作業は楽しい。人形を2つに割り、大きい人形から小さい人形まで一列に並べることとなる。目線を人形の横にもっていった遠近感を味わったりする。統一感と調和感が心地いい。再び組み立てる時に、今度分解するときはいづかな、と思ったりする。

この季節、東京の内堀通りをよちよち歩きのカルガモ親子が横断する光景が報道される。交通規制されている車たちも、イライラすることなく見守っている。多忙を極めるビジネスマンやOLたちも全員が立ち止まって眺めている。

JR岐阜駅南口の噴水池にもカルガモ親子がやってきた。カルガモ親子も勿論ほほえましいが、それを眺める市民の表

情とてもすてきだ。皆また来年も必ずここに戻ってくると確信している安心感がある。いずれの風景も、安定感と幸福感にあふれている瞬間である。

一方私たちは、得体のしれないもの見通しの持てないものに対し、本能的に恐怖感・不信感を持つ。現在世界中をコロナウィルスという妖怪が飛び交っている。マトリョーシカ人形も子カルガモも、掌を丸めるとスッポリ入り包まれて胸に抱いたり頬すりしたりできそうな安心感があるが、コロナウィルスは目に見えずトゲトゲがあり生命体でない物質だという。

いぶきが仲間にとっても地域にとっても、安心できるほほえましい存在であり続けることができるよう願ってやまない。